

小学校図画工作科、中学校美術科、高等学校芸術科（美術、工芸）

# 「鑑賞授業」はじめての一步



平成29年2月

岡山県総合教育センター

鑑賞授業に関するリーフレット

## 鑑賞授業の充実で児童生徒のやる気UP!

平成28年10月に岡山市を除く県内公立の小・中学校、中等教育学校及び県立高等学校の担当教師を対象に実施した「鑑賞授業に関するアンケート」の結果を基に、現行学習指導要領と次期学習指導要領の改訂の方向性を踏まえ、鑑賞授業に関するリーフレットを作成しました。「鑑賞授業ってどうすればいいの?」という声に、このリーフレットで少しでもお応えしたいと思います。

### <目次>

- 1 鑑賞授業について!
- 2 鑑賞授業ってどうやるの?
- 3 鑑賞授業を工夫してみよう!
- 4 鑑賞授業についてのQ&A



# 1 鑑賞授業について！

## (1) 表現と鑑賞の関係は？



表現

鑑賞

お互いにプラスに働き合っていくのですね。

表現と鑑賞は、一体的に補い合い高まっていく！

どの作家も多くの作品を鑑賞した経験が、自身の制作に生きています。鑑賞の経験がないと、児童生徒は自身も持っている視点や経験だけで発想や構想をしていかなければいけません。いろいろなものを見たり感じたりする鑑賞が、豊かな発想や構想に大きくつながってきます。

また、自分の描きたいものやつくりたいものの思いや主題に近づけようと工夫したり、使う人の気持ちを考えたりしながら作品をつくり出すことは、鑑賞の見方や感じ方を深めることにもつながってきます。つまり、「A表現」と「B鑑賞」は、それぞれ独立して働くものではなく、お互いに一体的に補い合って高まっていく活動なのです。

## (2) 鑑賞授業の現状について

平成28年10月に、岡山市を除く県内公立の小・中学校、中等教育学校及び県立高等学校に実施した「鑑賞授業に関するアンケート」から。(リーフレット内のアンケート結果は全てこの調査から抜粋)

### 鑑賞授業について、先生方はどう感じていますか？

Q 鑑賞授業に積極的に取り組んでいますか？

そう思う11.5% どちらかといえば思う48.7% どちらかといえば思わない37.3% 思わない2.5%

Q 鑑賞授業に自信がありますか？

自信がある1.8% どちらかといえばある27.6% どちらかといえばない60.9% ない9.7%

Q 鑑賞授業に有効性を感じていますか？

感じる46.4% どちらかといえば感じる47.8% どちらかといえば感じない5.8% 感じない10.0%

Q 鑑賞に充てる時間は十分ですか？

十分だ0.7% どちらかといえば十分だ26.9% どちらかといえば不十分だ61.6% 不十分だ10.8%

このアンケート結果から考えると、先生方は鑑賞授業に有効性を強く感じながらも、自信がもてず、鑑賞の授業に積極的に挑戦しきれていない状況が見えてきます。また、鑑賞に充てる時間をもっと取りたいと思っている先生方も多いようです。どうしたら先生方がより鑑賞授業に積極的に取り組み、児童生徒のために効果的な鑑賞授業を展開できるようになるかを考えてみたいと思います。

どうしたらいいのかな？



鑑賞授業についてのヒントをこのリーフレットで紹介していきます。



### Q 先生方が鑑賞授業で困っていることは何ですか？

- ① 鑑賞授業に関する知識が乏しい
  - ② 授業時数が少ないので鑑賞授業に充てる時間が取れない
  - ③ 鑑賞授業で提示する資料が乏しい
  - ④ 鑑賞授業を研究する時間がない
- など

以上のように、先生方が鑑賞授業で困っていることがアンケート結果から見えてきました。鑑賞授業の知識が少なく、鑑賞授業の仕方が分からず、研修しようとしても時間や機会がないといった課題があるようです。鑑賞授業についてこのリーフレットで紹介します。

## 2 鑑賞授業ってどうやるの？

### (1) いろいろな鑑賞授業について

目標に応じた鑑賞授業が可能です！

#### ○「表現と組み合わせた鑑賞」

描いたりつくったりする表現の授業の前に、児童生徒に関心・意欲を喚起させるために鑑賞の活動を設定したり、発想や構想の能力や創造的な技能を発揮させたりするためのヒントになるように鑑賞の活動を設定したりして、題材が深まるように鑑賞を効果的に活用します。また、発想や構想の段階でアイデアスケッチを見せ合ったり、完成後に作品を見せ合ったりする相互鑑賞をするなど、表現の活動と上手く組み合わせていくことが考えられます。

#### ○「独立した鑑賞」

美術作品や身近なものなどを児童生徒にじっくり鑑賞させ、作品のよさや美しさ、作者の心情や意図、表現の工夫について考えさせるなど、1コマの授業を鑑賞の活動として行う鑑賞の授業です。これを表現の授業の前や後に設定し、表現と効果的に組み合わせることも考えられます。

例



#### 【独立した鑑賞の例】

「風神雷神図屏風」を鑑賞して、作品のよさや表現の工夫を生徒に読み取らせた後に、屏風によって生まれる特徴や面白さを生徒に発見させました(中学校2年生)。

いろいろな鑑賞授業が他にもあります。発達段階やカリキュラムを考えて実施しましょう。P.3からP.5の授業例を参考にしてください。



### (2) 鑑賞授業の工夫について

効果的な鑑賞授業を行うために工夫ができます！

- 児童生徒と作品との出会いを大切にする
- 目標を明確にする
- 鑑賞題材の選定や提示の仕方の工夫をする
- 個人で考えたり集団で考えたりする活動を設定する など

子供たちが主体的に鑑賞できるような工夫をしましょう。



### (3) 言語活動の充実について

効果的な言語活動も鑑賞で行うことができます！

- 時間を十分確保し作品をじっくり見させる
- 最初に自分の考えをもたせる
- いろいろな考えに出会わせる
- 最後に自分の考えを深めさせる など



子供たちが興味をもちそうな作品を効果的に鑑賞させて、自分の考えをしっかりと持たせてから、話し合い活動をしましょう。対話を通して、いろいろな考えに子供たちが気付くと、自分の考えをもう一度深く考えていく鑑賞授業になるでしょう。

アクティブ・ラーニングの視点

Q 鑑賞の授業で話し合う活動を設定していますか？

設定している17.2% どちらかといえば設定している45.9% どちらかといえば設定していない26.2% 設定していない10.7%

# 3 鑑賞授業を工夫してみましょう！

## (1) 表現と組み合わせた鑑賞授業について

### 表現の授業での鑑賞の生かし方…

一つの題材	導入の場面	○児童生徒の興味・関心を高めるため ○教材と出会わせるため	
	発想や構想の場面	○アイデアを考えさせるヒントにするため ○材料と出会わせるため ○アイデアのよさや工夫を感じ取らせるため	相互鑑賞
	創造的な技能を 発揮している場面	○技法や工夫に気付かせるため	
	作品完成後	○完成作品のよさや工夫点を感じ取らせるため	相互鑑賞

一つの題材の流れの中で、何を目的にするか、表現にどう効果的に生かせるのかを考え意識して鑑賞を仕掛けると、児童生徒の発想力が広がったり、素晴らしい工夫ができていきます。

表現題材の主題や発想、構想などの視点を学ぶために「独立した鑑賞」を表現の授業の前に設定したり、授業後に設定したりすることも効果的です。表現の授業の中で相互鑑賞を効果的に設定されている先生方も多いです。



Q 鑑賞授業で学んだことが、児童生徒の表現に生かされていると感じますか？  
感じる23.4% どちらかといえば感じる65.1% どちらかといえば感じない11.5% 感じない0.0%

### Point

#### 〔共通事項〕の視点

小学校と中学校では、形や色、イメージなどといった〔共通事項〕を視点にして相互鑑賞をするといひでしょう。また、高等学校でも、この〔共通事項〕を活用することも大切です。

#### アクティブ・ラーニングの視点

鑑賞を取り入れることで、児童生徒が主題やアイデアなどを主体的に考えたり判断したりするヒントになります。また、意図的に言語活動をする場面を設定して、児童生徒がより多面的な考えに出会ったり、そこから深く考えられたりするように授業を工夫しましょう。

#### 思考・判断の中心となる考え方を深める

例えば、ポスターの題材では、形や色によりイメージや情報が豊かに伝達できるという考え方を、表現と鑑賞の双方から深めることが重要です。



表現と組み合わせた鑑賞では、「B鑑賞」の指導事項に位置付け、鑑賞の能力の評価を行う「B鑑賞」の活動と、発想や構想の手立てとして比較的短時間でを行う「鑑賞的な活動」がありません。後者は、表現の指導の一貫として行うものなので、鑑賞の能力としての評価は必要ありません。



## 相互鑑賞を活用して

相互鑑賞は、発想や構想の段階で児童生徒にアイデアスケッチをお互いに見合わせたり、作品完成後に、作品をお互いに見合わせたりして、お互いの作品のよさや意図、表現の工夫などを読み取り確かめ合う活動です。

### ○発想や構想の段階 → アイデアスケッチを見せ合う

児童生徒は、お互いのアイデアのよさや工夫点を見付け、自分のアイデアに生かすことができます。ただし、相互鑑賞が効果的に活用できる題材かどうか吟味し、必要性がある時に行います。

### ○作品完成後 → 完成作品を見せ合う

児童生徒は、お互いの作品のよさや美しさ、作者の心情や意図、表現の工夫について考えます。児童生徒の発表等から、作品を見ただけではわからない、意図や工夫点にも気付くことができます。

# 3 鑑賞授業を工夫してみましょう！

## (2) 独立した鑑賞授業について

### アート・カードを使って



#### 小学校の例



例

- かるたゲーム
- ジェスチャーゲーム
- 仲間分けゲーム
- 展覧会を考える！ など



アート・カードとは、美術館などで作成された、美術作品のカードのことです。このアート・カードを活用して、様々なゲームを体験しながらよく見ることで、作品のよさや美しさを見付けます。県内美術館のアートカードなどを活用して、手軽に楽しくできるので、ぜひ挑戦してみてください。

#### 【アート・カードのかるたゲームの例】

アート・カードでかるた遊び体験の後、児童に読み札を数枚つくらせ、自分たちの読み札で、もう一度かるた遊びを行うことで、作品をよりじっくり見させるという鑑賞例です。

※1 岡山県立美術館国吉康雄教材開発研究会「国吉康雄の作品を使った絵札セット」を使用

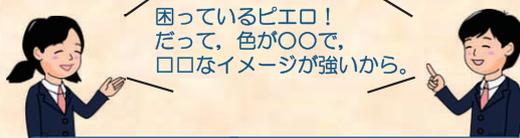
### 言語活動の充実を図って

例

- 対話を取り入れた鑑賞をする
- 鑑賞したことを自分の言葉で表現する など



まず、じっくり鑑賞し、自分の感じたことや考えたことを見付けます。



困っているピエロ！  
だって、色が〇〇で、  
□□なイメージが強いから。

次に、根拠を大切にしながら、お互いに発表し合って自分とは違った意見に出会います。また、必要に応じて題材に合った知識なども活用しながら、新しい考えに気付いていきます。



#### 中学校の例

#### 【お気に入り作品を紹介する例】

生徒が選んだ作品を個人やグループで鑑賞した後、国語の授業で根拠を明確にしながらかその作品の紹介文を書かせます。最後に美術の授業で「美術商になって売り込む」というシチュエーションで発表させました。生徒は、自分と違った視点やよさに気付くことができていました。

※2 倉敷市立美術館所蔵の池田遙都の作品を使った「遙都アートカード」を使用

### 美術文化を意識して

例

- 地域の伝統文化を鑑賞する
- 日本美術のよさや特徴を読み取る
- 日本と諸外国の作品を比較鑑賞する など

地域の工芸品などは、実物が鑑賞できます。また、美術館の学芸員の方や地域の作家の方をゲストティーチャーにお呼びするなど、地域に即した鑑賞授業を企画することができます。



備前焼って、  
こんなよいとこが  
あるんだね。



#### 高等学校の例

#### 【絵巻物を紹介している例】

外国の方を教室に招き、その方に日本の美術作品のよさや特徴について生徒が英語で説明する授業です。この場を設定することで、生徒は日本美術のよさや特徴を主体的に学ぶことができました。日本の美術文化の理解が効果的にできた授業です。

※3 岡山県立美術館所蔵作品「桃太郎絵巻（作者不詳）」を活用した美術館教育素材を使用

Q 独立した鑑賞の授業をどのくらい行っていますか？（1番多かったもののみ抜粋）

（小学校）年間0時間以上2時間未満46.2% （中学校）年間2時間以上4時間未満52.5% （高等学校）年間0時間以上2時間未満33.3%

# 3 鑑賞授業を工夫してみましょう！

## 独立した鑑賞の Point

### 〔共通事項〕の視点

作品のよさや特徴などを形や色、イメージなどといった〔共通事項〕の視点を意識して鑑賞するとよいでしょう。また、教師が児童生徒に作品について聞くときにも、〔共通事項〕の視点や根拠を大切にするとよいでしょう。

### アクティブ・ラーニングの視点

鑑賞する時間をたっぷりとり、自分の意見をしっかりもたせてから、児童生徒に話し合わせたり発表させたりしましょう。児童生徒は自分と違った意見に気付くことで、自分の見方や考え方が広がったり深まったりします。

### 思考・判断の中心となる考え方を深める

例えば、作品をじっくり鑑賞して、作者の心情や意図、表現の工夫について考え、その作品に込められた主題をつかむことは、表現の授業で発想や構想して主題を考えることにつながります。

## 中学校2・3学年、高等学校の場合



生徒に根拠をもたせ、感じたことや考えたことを自分の言葉で発表させることが大切です。また、中学校3年生では2年生よりも深い内容について、高等学校ではさらに深く鑑賞できる授業を教師は準備することも大切です。

## 独立した鑑賞の生かし方…

(中学校2・3学年、高等学校の場合)

- 作品などに対する自分の価値意識をもたせ、それをもとに批評させる
- 日本の美術や伝統文化を理解させる

- Q 生徒に作品などに対する自分の価値意識をもたせ、それをもとに批評させる活動を行っていますか？
- |                  |           |           |                 |           |           |
|------------------|-----------|-----------|-----------------|-----------|-----------|
| 行っている方だ          | (中) 8.3%  | (高) 5.5%  | どちらかといえば行っている方だ | (中) 38.3% | (高) 38.9% |
| どちらかといえば行っていない方だ | (中) 41.7% | (高) 27.8% | 行っていない方だ        | (中) 11.7% | (高) 27.8% |
- Q 日本の美術や文化を理解させる鑑賞授業を行っていますか？
- |                  |           |           |                 |           |           |
|------------------|-----------|-----------|-----------------|-----------|-----------|
| 行っている方だ          | (中) 15.0% | (高) 13.9% | どちらかといえば行っている方だ | (中) 53.3% | (高) 36.1% |
| どちらかといえば行っていない方だ | (中) 28.3% | (高) 27.8% | 行っていない方だ        | (中) 3.4%  | (高) 22.2% |

## (3) その他の鑑賞授業の工夫について

### ○生活の中の美術のはたらきを意識させる

生活の中にある身近な美術作品、伝える目的や使う目的でつくられたものなどを児童生徒に鑑賞させることで、美術が社会で生きていることに気付かせるような授業を行うことが考えられます。また、地域の伝統工芸品なども鑑賞素材として扱くと、地域のよさや特徴、美意識などを知ることにもつながります。

例



### ○美術館や博物館、地域の素材や人材を活用する

美術館や博物館に児童生徒を引率すると本物が鑑賞できます。しかし、地域に美術館がないために連携できない学校も多いです。最近では、美術館の所蔵作品のレプリカの貸し出しや学芸員を学校にお招きする出前授業等もあります。また、地域の作家や企業と連携し、伝統文化や美意識に着目した鑑賞授業なども考えられます。

この他にも、さまざまな鑑賞授業が考えられます。その地域の特性にあったものや子供たちの身近にあるものなども鑑賞素材になります。特に身近なものは教師が集めやすく、実際に子供たちが知っていたり使っていたりするものなのでとても興味をもちます。鑑賞の目標に応じて、鑑賞するものや仕方をしっかり考え、鑑賞授業を計画してみてください。

### ○鑑賞授業を実施する時期を工夫する

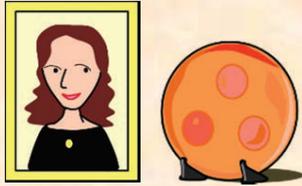
題材を通してもしくは年間を通して、どの時期に鑑賞授業を行えば効果的になるかを考えて計画することが大切です。

- Q 美術館や博物館と連携を行っていますか？ 行っている19.4%
- Q 児童生徒が鑑賞授業を経験するにつれて、見方や感じ方が深まっていると感じますか？
- |     |       |             |       |              |      |      |      |
|-----|-------|-------------|-------|--------------|------|------|------|
| 感じる | 24.5% | どちらかといえば感じる | 66.9% | どちらかといえば感じない | 7.9% | 感じない | 0.7% |
|-----|-------|-------------|-------|--------------|------|------|------|

# 4 鑑賞授業についてのQ&A

## Q1:何を鑑賞すればいいの？

A1



例

- 美術作品
- 工芸品
- ポスター
- イラスト
- 製品
- 建物
- 児童生徒作品
- 身近なもの
- など

発達段階や児童生徒の関心などを考慮して、先生方が授業する子供たちに、効果的な鑑賞ができるものを準備しましょう。また、鑑賞の目的に合わせた、鑑賞資料の精選も必要です。



## Q2:鑑賞の評価はどうすればいいの？

A2

例

- ワークシートに根拠を記入させるなどの工夫をする
- 授業の目標を明確にする
- 鑑賞したり友達の見方を聞いたりすることで見方や考え方が広がったり深まったりしたかを確認する

など

ワークシートを活用する場合には、教師は子供たちの文章の出来栄だけにとらわれず、作品から何を感じてどう考えたかを見取って鑑賞の能力を評価していきます。そこで、ワークシートに感想だけを書かせるのではなく、授業の目標に応じた質問に対する考えや根拠を書かせる欄などを用意し、生徒の文章のキーワードを押さえるといった工夫などが考えられます。



Q 鑑賞授業の評価に困っていますか？

困っている12.7% どちらかといえば困っている52.7% どちらかといえば困っていない30.9% 困っていない3.7%

Q 鑑賞授業の評価をするとき、どんなことを課題に思いますか？

- 1 国語の力が鑑賞の能力が分からない
- 2 どのような力がついたらいいの分からない
- 3 児童生徒の発言をどう読み取ればいいのか分からない (以上、多い方から3つ抜粋)

## Q3:相互鑑賞ではどんな工夫ができるの？

A3

どの校種でも相互鑑賞を設定している先生方は多いです。作品完成後に行うだけでなく、発想や構想の段階でも効果的に行うことができます。題材の内容や展開、児童生徒の実態などに合わせて工夫してみましょう。ただし、相互鑑賞が効果的に活用できる題材が吟味しましょう。



表現や鑑賞に働く〔共通事項〕は、鑑賞のポイントになります。活動前に鑑賞の視点にしてもいいし、子供の発表後にこの〔共通事項〕を確認する方法もあります。

例

### 相互鑑賞のいろいろ

- ・班や学級全体で順番に鑑賞し、ワークシートに記入させる
- ・ワークシートに鑑賞の観点を設け記入させる
- ・班内で相互鑑賞して、作品へのアドバイスをさせる
- ・付箋に感じたことを記入させ、作品ごとに貼らせる
- ・付箋を使って〔共通事項〕を児童生徒に意識させる

など



このアイデアスケッチは...

パッケージなら商品のさわやかなイメージが伝わるよ

平成27・28年度岡山県総合教育センター所員研究  
(個別テーマ研究：小学校図画工作、中学校美術、高等学校芸術(美術、工芸))  
「図画工作科、美術科、芸術科(美術、工芸)における鑑賞授業の充実を目指して」  
研究委員会

- |        |       |                      |
|--------|-------|----------------------|
| ■指導助言者 | 村上 尚徳 | 環太平洋大学教授             |
| ■協力委員  | 市川かおり | 倉敷市立郷内中学校指導教諭        |
|        | 後藤 晋  | 岡山県立岡山芳泉高等学校指導教諭     |
|        | 赤木美貴恵 | 新見市立西方小学校教諭(平成28年度)  |
|        | 下川 愛子 | 赤磐市立磐梨小学校教諭(平成27年度)  |
| ■研究委員  | 佐藤 裕之 | 岡山県総合教育センター教科教育部長    |
|        | 平田 朝一 | 岡山県総合教育センター教科教育部指導主事 |

平成29年2月発行

「『鑑賞授業』はじめの一歩」

【編集兼発行】 岡山県総合教育センター

〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町吉川7545-11

TEL : (0866) 56-9101 FAX : (0866) 56-9121

URL : <http://www.edu-ctr.pref.okayama.jp/>

E-mail : [kyoikuse@pref.okayama.lg.jp](mailto:kyoikuse@pref.okayama.lg.jp)



お問い合わせ 教科教育部 TEL : (0866) 56-9103

Copyright© 2017Okayama Prefectural Education Center

## 子供たちのために、効果的な鑑賞授業を！

先生方いかがだったでしょうか？  
鑑賞授業は子供たちの見方や感じ方を育てるだけでなく、作品を描いたりつくったりすることにも大きく影響します。できることから鑑賞授業を工夫していきましょう！

美術文化にもつながっていきますよ。ぜひ、目標や子供たちの実態に合わせて工夫をしながら鑑賞授業にチャレンジしてみてください。応援しています！

アンケートの実施に協力して下さった先生方、本冊子作成に協力して下さりました協力委員の方、御指導下さいました村上教授に感謝いたします。

平成29年2月